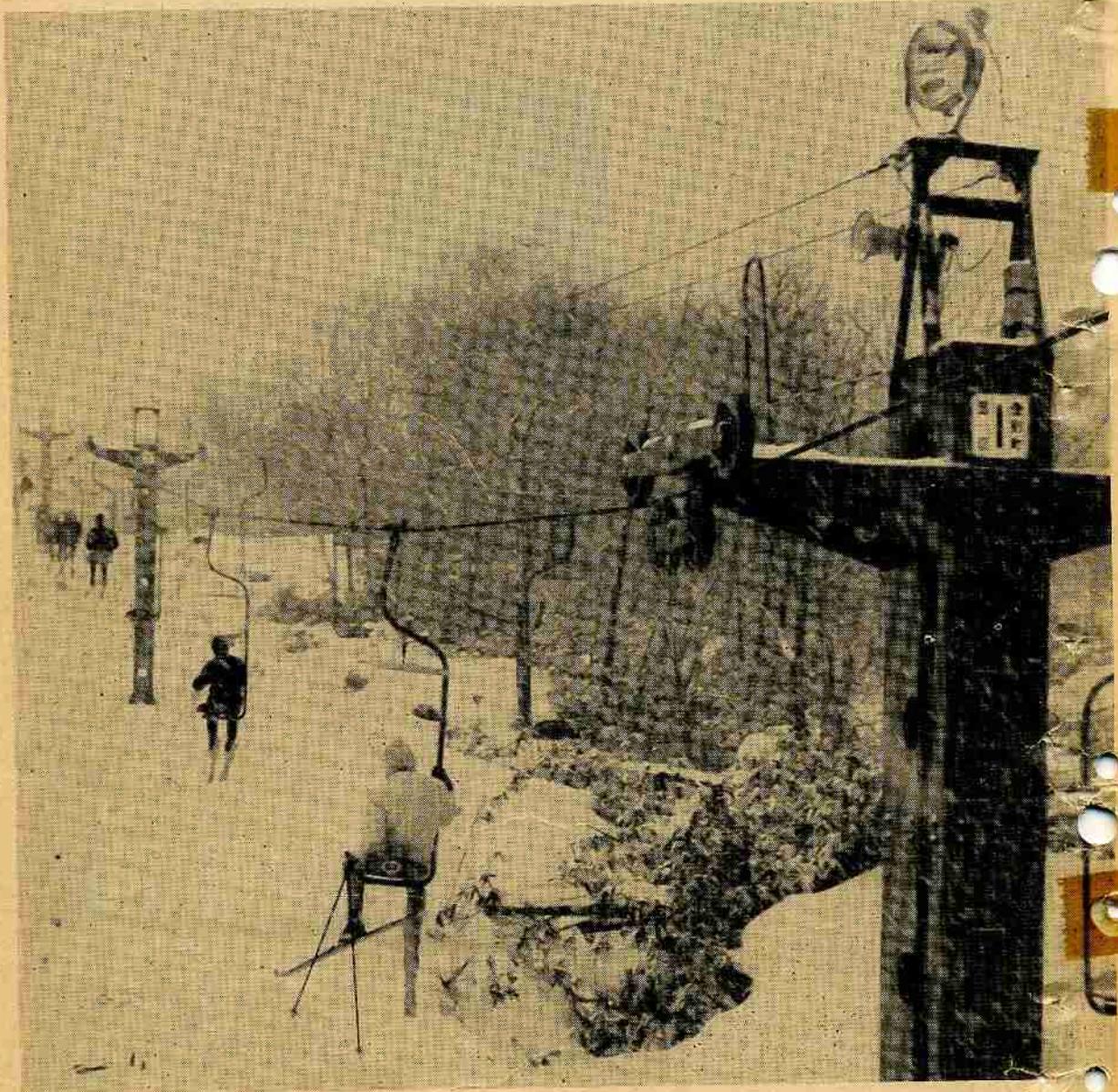


発行 登別町役場住民係

印刷 室蘭印刷株式会社

本報

# のぼりべつ



►…カルルスキー場に待望のリフトが完成…◀

このほどカルルスキー場にリフトが完成しました。

このリフトは毎時 514人の輸送能力があつて頂上へは約 6 分で行くことができます「北海道の蔵王」と定評のあるこのスキー場の頂上には初級者用、中級者用、高級者用のコースがあり誰でも思う存分滑ることができます。

1月号

No. 63

# 町政伸展と 福祉増進に努力

町民のみなさま、あけましてお  
めでとうございます。

みなさまと共に輝かしい昭和四  
十年の新春をお祝いできること  
を心からうれしく存じます。

町政をお預りしま  
して十年目の新春

を迎えたところで  
あります。が、この

間みなさまのお力  
添によりまして町  
政発展の基盤とな

る懸案事業を強力  
に推し進めてまい  
ることができます。が、この  
ことを心から感  
謝申し上げる次第  
であります。

頑張りますに  
昨年は待望の新産  
業都市の指定を受  
け将来的な大都市建  
設への希望が開かれたのを始め複  
数の着工、し尿処理場の建  
設、小中学校の増改築、観光開発  
などもなう施設の整備その他三万  
六千町民の福祉と繁栄のための諸  
事業が着実に達成されつあります  
ことは、これまで喜びにたえな

いところであります。  
しかしその反面、数年来の未曾  
有の冷害による暗いニュースもあ  
りましたが当町においては他に見  
られるような悲惨な事態もなく過  
ごすことができましたことは、不  
運いたいと存じます。



一 岩倉誠一 長町長

## 新 年

期待を寄せるものであります。  
町政もこれにつれて順調に進展  
するものと確信いたしますが、町  
の建設は全町民共通の責任あるつ  
とめとお考えくださいまして一層  
のこ勤力を願ってやみません。

わたくしも町政推進の責任者と  
して、これが実現のために最大の  
努力を尽し、この重責を全うして  
まいりたいと存じます。

明るく豊かな町づくりに向って  
新たなる決意のもとに新年を祝い  
たいのであります。

郷土の発展とみなさまのご多幸  
を切に祈つてやみません。

## 新 年

登別町役場

登別町消防本部

町長 岩倉誠一 消防長 堅田久次郎

助役 高田忠雄 委員長 上田邦男

収入役 八十嶋武雄 教育長 柳沼高杉

総務部長 小野寺勇 教育長 柳沼高杉

民生部長 田村仙一郎 委員長 森口護

開発部長 西尾和久 委員長 三浦守治

税務課長 後藤四郎 委員長 三浦守治

住民課長 大家保治 登別町国民健康保険運営協議会

水道課長 星野達也 委員長 上村秀雄

建設課長 中浜元三郎 登別町交通安全運動推進委員会

産業観光課長 田上善次 委員長 三浦守治

外職員一同 登別町国定資産評価審査委員会

議長 南邦夫 委員長 三好秀一

登別町監査委員 一 同

登別町議会 委員長 三好秀一

## 成人お目出とう

### 出席しよう

一月十五日は「成人の日」です

昭和四十年一月十五日 午前九時

○ 場所

登別町体育館（役場ウラ）

○ 行事内容

（1）「新しい成人者に期待する」と  
いうテーマで数名の講師によるシ  
ンポジウム（話題）が行なわ  
れることになつております。

（2）案内状を提示して下さい  
（3）当日出席される方には各々に記  
念品を上げますので案内状を時

（4）成人該當者として成人されたみ  
立派な社会人として成人されたみ  
なさんをお祝いする成人式を次の  
ようを行ないます。

該当する方は必ず出席して下さ  
い。

（5）服装は出来るだけ簡素に  
おいで願います。

（6）お問い合わせ

（7）申込

（8）申込

（9）申込

（10）申込

（11）申込

（12）申込

（13）申込

（14）申込

（15）申込

（16）申込

（17）申込

（18）申込

（19）申込

（20）申込

（21）申込

（22）申込

（23）申込

（24）申込

（25）申込

（26）申込

（27）申込

（28）申込

（29）申込

（30）申込

（31）申込

（32）申込

（33）申込

（34）申込

（35）申込

（36）申込

（37）申込

（38）申込

（39）申込

（40）申込

（41）申込

（42）申込

（43）申込

（44）申込

（45）申込

（46）申込

（47）申込

（48）申込

（49）申込

（50）申込

（51）申込

（52）申込

（53）申込

（54）申込

（55）申込

（56）申込

（57）申込

（58）申込

（59）申込

（60）申込

（61）申込

（62）申込

（63）申込

（64）申込

（65）申込

（66）申込

（67）申込

（68）申込

（69）申込

（70）申込

（71）申込

（72）申込

（73）申込

（74）申込

（75）申込

（76）申込

（77）申込

（78）申込

（79）申込

（80）申込

（81）申込

（82）申込

（83）申込

（84）申込

（85）申込

（86）申込

（87）申込

（88）申込

（89）申込

（90）申込

（91）申込

（92）申込

（93）申込

（94）申込

（95）申込

（96）申込

（97）申込

（98）申込

（99）申込

（100）申込

（101）申込

（102）申込

（103）申込

（104）申込

（105）申込

（106）申込

（107）申込

（108）申込

（109）申込

（110）申込

（111）申込

（112）申込

（113）申込

（114）申込

（115）申込

（116）申込

（117）申込

（118）申込

（119）申込

（120）申込

（121）申込

（122）申込

（123）申込

（124）申込

（125）申込

（126）申込

（127）申込

（128）申込

（129）申込

（130）申込

（131）申込

（132）申込

（133）申込

（134）申込

（135）申込

（136）申込

（137）申込

（138）申込

（139）申込

（140）申込

（141）申込

（142）申込

（143）申込

（144）申込

（145）申込

（146）申込

（147）申込

（148）申込

（149）申込

（150）申込

（151）申込

（152）申込

（153）申込

（154）申込

（155）申込

（156）申込

（157）申込

（158）申込

（159）申込

（160）申込

（161）申込

（162）申込

（163）申込

（164）申込

（165）申込

（166）申込

（167）申込

（168）申込

（169）申込

（170）申込

（171）申込

（172）申込

（173）申込

（174）申込

（175）申込

（176）申込

（177）申込

（178）申込

（179）申込

（180）申込

（181）申込

（182）申込

（183）申込

（184）申込

（185）申込

（186）申込

（187）申込

（188）申込

（189）申込

（190）申込

（191）申込

（192）申込

（193）申込

（194）申込

（195）申込

（196）申込

（197）申込

（198）申込

（199）申込

（200）申込

（201）申込

（202）申込

（203）申込

（204）申込

（205）申込

（206）申込

（207）申込

（208）申込

（209）申込

（210）申込

（211）申込

（212）申込

（213）申込

（214）申込

（215）申込

（216）申込

（217）申込

（218）申込

（219）申込

（220）申込

（221）申込

（222）申込

（223）申込

（224）申込

（225）申込

（226）申込

（227）申込

（228）申

## 議会だより

# 保険税の税率引上げ

## 四十年度から実施か?

第四回定期議会は十二月十一日 十一月十九日で任期満了となるに行なわれ、報告一件と議案十六件が審議されました。国民健康保険税の税率引上げに関する条例改正案を社会常任委員会に附託したほか、いずれも原案どおり可決しました。

その主なものを紹介してみましょ

### ◎三八年度各会計決算(報告)

先の議会で社会常任委員会に附託されていた三八年度の各会計決算は、慎重に審査した結果正確であるとの報告がなされ、これを認定しました。

### ◎冷害農家に対する町民税の减免措置条例

冷害で困っている農家が、一日も早く立直れるように、三九年度の町民税と国民健康保険税を三八年の所得格差により減免することにしました。

### ◎療養給付率の引上げ

みなさんが病院の窓口で支払う医療費は、今まで世帯主が全医療費の三割、その他の方は五割でした。これを一月から世帯主以外の方も全員三割だけ支払うことにして、残りの七割を町が負担(支払う)することにしました。

### ◎固定資産評価審査委員の選任

深瀬泰一氏を再任しました。  
◎職員の給与改訂 一般職員の給与を国家公務員の給与改訂にならって引上げることにしました。

### ◎一般会計補正予算

漁協の自営船建造資金貸付金として一、〇〇〇万円、職員の給与改訂等に伴う人件費一、四七三万円のほか西川上地区の電気導入事業助成金など七八三万円を追加し予算総額は五億九、一五五万円となりました。

### ◎国保会計補正予算

療養給付率の引上げに伴う療養給付費六三三万円と職員の給与改訂による人件費一四万円、その他事務費等一四万円を追加して、総額は二、八二一萬円となりました。

### ◎水道会計補正予算

温泉上水道の拡張工事は、今年一、一〇〇万円、四十年度四、九〇〇万円、四一年度四、〇〇〇万円の三年継続事業で行なうことにしていましたが、今年五〇〇万円から七割に引上げることになりました。これを一月から世帯主以

外の方も全員三割だけ支払うことにして、残りの七割を町が負担(支払う)することにしました。

額を五、九二三万円としました。  
◎観光会計補正予算 町営のカルススキー場にリフトが完成することにより、その營業に用する人件費や維持費四十三万円、リフト建設費として借りた

うので、その結果を待ち税率の二、〇〇〇万円の今年度返済分二五万円、給与改訂による人件費など三二万円を追加して総額は、一億五、一三六万円となりました。

保険事業は社会保障制度としてその療養費を町とみなさんが各自五割を負担し合い、町が負担する

分は、みなさんが納める保険税と国補助金により賄うことで三四年度から行なっています。

そして三六年の七月と十二月とで医療費が一四・八パーセント値上がりしましたので三七年度に保険税率の税率を引上げました。

しかし、その後受診件数の上昇と医療費の増嵩などにより療養費用額は急激に増え、しかも三八年十月から世帯主だけの療養給付費(町負担分)を五割から七割に、また今月から世帯主以外の方も五割

所得割	60	100	を	95	100	に
均等割	0	0		0	0	
(保険者一人当り)	3	6		6	12	
平等割	0	0		0	0	
(一人当り)	6,000	12,000	円	6,000	12,000	円

所得割	40	100	を	35	100	に
均等割	0	0		0	0	
(保険者一人当り)	3	6		3	6	
平等割	0	0		0	0	
(一人当り)	6,000	12,000	円	6,000	12,000	円

## 除雪して道路を

### 広くしよう

冬は積雪によってどうしても道路を狭くつかわがちです。道路を狭くすることは交通事故の事故をなくするために、次のこと

を守り道路を広くします。

◎家の廻りを除雪する。

◎消防活動が十分できるよう消火栓の廻りも除雪する。

◎除雪した雪を道路に投げ返さない。

なればなりません。  
これに対し議会は、医療費が今月から九・五パーセント値上がりして、これを社会常任委員会に附託しました。

率を改正したいと提案しました。



【5】広報のぱりべつ

## 最近の米の配給事情

当町には十一軒の米穀配給店がありますが、最近は消費者の希望通り一度に基準量が配給できない事情にありまして、御不便をおかけしていること思います。

これは冷害による不作、配給人口の増加等種々の原因が重なって国内産米に不足をきたした結果であります。

あろうと思われますし、全道的に同じ配給事情下にあります。

食糧管理法による消費者一人当たりの配給基準量は、一ヶ月十キログラムですが、最近の実情は、国から割当が市町村単位で、昨年

し、毎月確保しておりますので、



会長 中谷繁一 氏

度消費実績、プラス小さみ追加の形で購入割当されますので、配給店では時により消費者一ヶ月分を二、三度に分割して配給しなければならない場合も出来てくるのであります。今後も当分このよ

うな状態が続くものと思われます。

米穀の種類は、特選米、普通米、徳用米、準内地米とあります。配給店への入荷状況によっては普通米や特選米だけを配給出来ないこともあります。

然し絶体必要量は割当されます。

申出ください。

農業センサスが実施されま

す農家のみなさま方の特段の

ご協力をお願いいたします。

訪問による補導を行うほか、相談

にも応じますので、青少年問題は

お気軽に近くの補導員へ御相談く

ださい。

浅沼 春次郎 (幌別本町)

渡辺 康男 (幌別)

宮武 伸一 (幌別鉄南)

中島 康男 (来馬)

高畠 勝美 (来馬)

小川 豊 (幌別)

一橋 公夫 (来馬)

吉田 正成 (登別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

高橋 徳太郎 (登別)

小原 忠 (登別温泉)

江良 充保 (幌別)

吉田 正成 (幌別)

山崎 茂 (幌別)

小笠原 岩吉 (登別温泉)

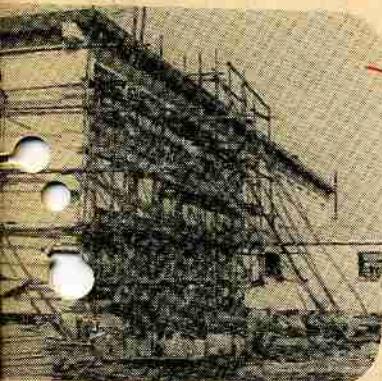
土屋 弘平 (幌別)

高畠 勝美 (幌別)

</div

# 3年のあるのみ

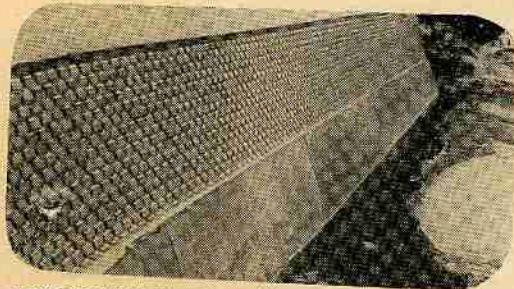
## ・福祉・衛生



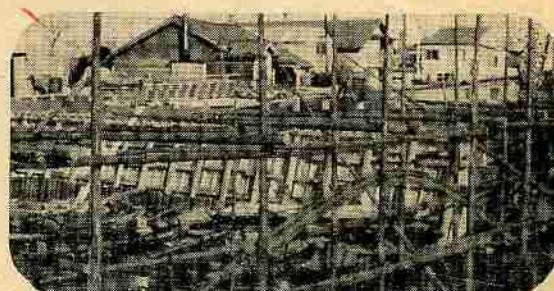
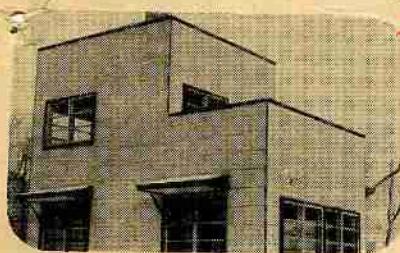
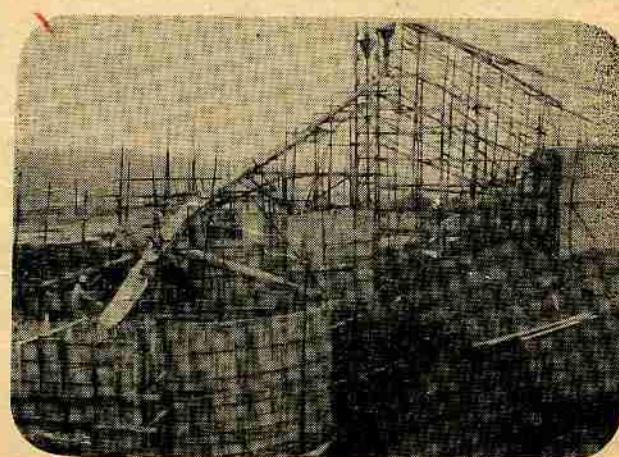
工 39.12.7 工費 969万



札内小中学校新築工事 竣工 40.3.31 工費 1,023万



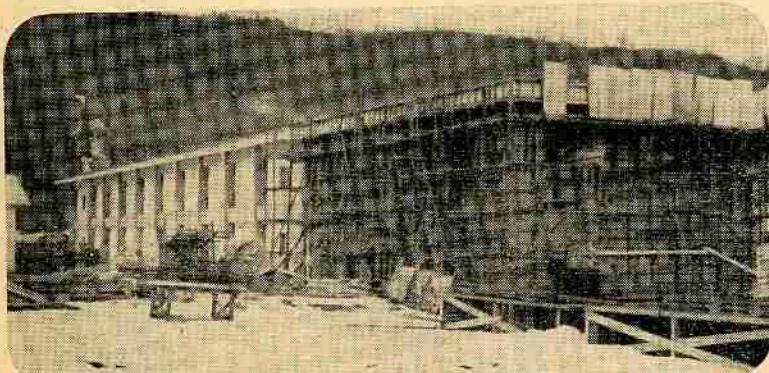
町道来馬東線道路工事 竣工 39.10.21 工費 340万

石代橋 著工 39.9.13 竣工 40.3.31 工費 2010万  
相模原市総合公園カルススキリフト  
竣工 39.12.工費二千万札内地区横断農道新設工事  
竣工 39.12.15 工費 590万清掃車  
購入 5月 価額 436万円地獄谷案内所新築工事  
竣工 39.10.24 工費 80万円

すでに完成したものや、現在急  
ピッチで作業が行なわれている  
もののおもな建設事業を写真で  
お知らせします。

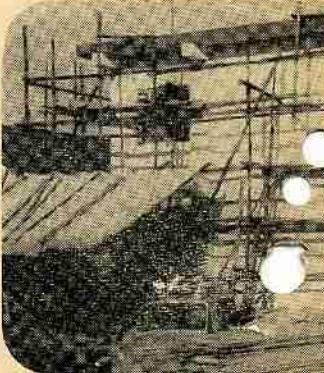
# 登別町 昭和3

## 教育・土木

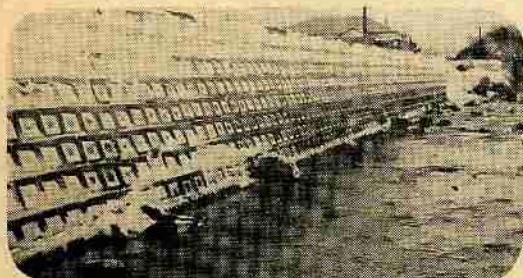


登別高校増築各施設々置工事

竣工予定 40.3.31 工費 950万



幌別中学校増築工事



富岸川河川災害復旧工事 竣工39.12.26 工費23万



登別駅前道路拡張工事 完成 39.10.31 工費400万



上

竣工39

10 公営住宅新築工事

18 工費一、〇二六円



# 知つておくと便利

## 水道の話 (その二)

現在水道を利用している方々ま

たこれから利用しようとする方々ま

たしでも水道のことを知つてい

たらため先月号から水道に関するいろいろなことを掲載してお

ります。

この欄に掲載を希望する記事、質問等がありましたら水道課へお申出下さい。

「公用給水栓」

① 共用栓から水を汲みたい、と

いう方は役場水道課、又は最寄り

の支所に公用栓給水使用届を出し

て下さい。

② この受付と同時にカギと鑰札

を交付します。料金は100円で

すがこれらのカギと鑰札は貸付で

すから公用栓の使用をやめる場合

は必ず返して下さい。カギを持

っている間は使用していなくても

料金がかかります。

届出もせず不当に公用栓を使用し

ているものかいる場合はみなさ

る迷惑になりますので水道課へ連絡して下さい。

なおカギを他人に貸したり、譲っ

たり、偽造したりしますと処罰さ

れますのでご注意願います。

次のこととは絶対にしないで下

さい。

さは大のにがてで

す。

大切に取扱わない

とだんだんなめら

かに動

かなく

なり放

つてお

くとつ

いには

凍結し

たり故

障をお

こした

りしま

す。

これか

らは寒

さも一

段とき

びしく

なりま

す。水

道施設を家族の一

員として大切に取

下さい。修理代金は後日計算して

おぼえておいて下

さい。

水道はあなたの

忠実な使用人です

るようにならぬ

さは大のにがてで

す。

大切に取扱わない

とだんだんなめら

かに動

かなく

なり放

つてお

くとつ

いには

凍結し

たり故

障をお

こした

りしま

す。

これか

らは寒

さも一

段とき

びしく

なりま

す。水

道施設を家族の一

員として大切に取

下さい。修理代金は後日計算して

おぼえておいて下

さい。

水道はあなたの

忠実な使用人です

るようにならぬ

さは大のにがてで

す。

大切に取扱わない

とだんだんなめら

かに動

かなく

なり放

つてお

くとつ

いには

凍結し

たり故

障をお

こした

りしま

す。

これか

らは寒

さも一

段とき

びしく

なりま

す。水

道施設を家族の一

員として大切に取

下さい。修理代金は後日計算して

おぼえておいて下

さい。

水道はあなたの

忠実な使用人です

るようにならぬ

さは大のにがてで

す。

大切に取扱わない

とだんだんなめら

かに動

かなく

なり放

つてお

くとつ

いには

凍結し

たり故

障をお

こした

りしま

す。

これか

らは寒

さも一

段とき

びしく

なりま

す。水

道施設を家族の一

員として大切に取

下さい。修理代金は後日計算して

おぼえておいて下

さい。

水道はあなたの

忠実な使用人です

るようにならぬ

さは大のにがてで

す。

大切に取扱わない

とだんだんなめら

かに動

かなく

なり放

つてお

くとつ

いには

凍結し

たり故

障をお

こした

りしま

す。

これか

らは寒

さも一

段とき

びしく

なりま

す。水

道施設を家族の一

員として大切に取

下さい。修理代金は後日計算して

おぼえておいて下

さい。

水道はあなたの

忠実な使用人です

るようにならぬ

さは大のにがてで

す。

大切に取扱わない

とだんだんなめら

かに動

かなく

なり放

つてお

くとつ

いには

凍結し

たり故

障をお

こした

りしま

す。

これか

らは寒

さも一

段とき

びしく

なりま

す。水

道施設を家族の一

員として大切に取

下さい。修理代金は後日計算して

おぼえておいて下

さい。

水道はあなたの

忠実な使用人です

るようにならぬ

さは大のにがてで

す。

大切に取扱わない

とだんだんなめら

かに動

かなく

なり放

つてお

くとつ

いには

凍結し

たり故

障をお

こした

りしま

す。

これか

らは寒

さも一

段とき

びしく

なりま

す。水

道施設を家族の一

員として大切に取

下さい。修理代金は後日計算して

おぼえておいて下

さい。

水道はあなたの

忠実な使用人です

るようにならぬ

さは大のにがてで

す。

大切に取扱わない

とだんだんなめら

かに動

かなく

なり放

つてお

くとつ

いには

凍結し

たり故

障をお

こした

りしま

す。

これか

らは寒

さも一

段とき

びしく

なりま

す。水

道施設を家族の一

員として大切に取

下さい。修理代金は後日計算して

おぼえておいて下

さい。

水道はあなたの

忠実な使用人です

るようにならぬ

さは大のにがてで

す。

大切に取扱わない

とだんだんなめら

かに動

かなく

なり放

つてお

くとつ

いには

凍結し

たり故

障をお

こした

りしま

す。

これか

らは寒

さも一

段とき

びしく

なりま

す。水

道施設を家族の一

員として大切に取

下さい。修理代金は後日計算して

おぼえておいて下

さい。

水道はあなたの

忠実な使用人です

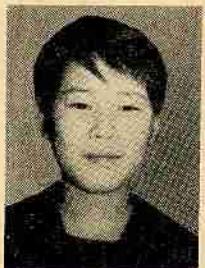
るようにならぬ

さは大のにがてで



## 作文コンクールで

## 私政大臣賞うけける



「誰が、なんといおうと、入りませんよ。」

母は、どこまでもそう言い切るのです。

それに今私の家の家庭状態からでは、とうてい保険に入つてお金をつんでおくような余裕はなかつたのです。長兄と次兄の二人の給料で一人が生活しなければなりませんでした。それに、お嫁さんに行く姉、お嫁さんをもう兄弟の大学の授業料、それに

末の兄、姉、私の授業料となるお金より、出るお金の方が多く毎月赤字なのに保険に入るようなりして、生活をまかっていた。

父は、山で木を切つて人に売つた余分なお金はありませんでした。

私の家は農家なので野菜ものは不

した。でも長兄は、人に進められると、「いや」といえなくはいってしまった。長兄は、母に保険を説明するが、ひとりごとでもいつていてるかの様に話しかねません。保険の話をもちこむと、「誰かが死ぬるついで、えんぎでもない」と、言つて台所に立ち上がる母。

「でもねえ母さん、保険に入つて損のいく様なことはないよ」

少し保険というものを理解したらしく姉も口をはさむ。

年行われた全国中学作文コンクールで郵政大臣賞を受賞しました。

次の作文は入選作となつた「生命保険」です。

私たちが毎日、明るく、楽しく生

活していくのには、生命保険がな

といふものに家族全員が無関心で

いた。でも長兄は、人に進められると、「いや」といえなくはいつてしまつた。長兄は、母に保険を

## 冬のレジャーは 町営のオロフレ荘で



宿泊料金

大人	小人	大人	小人
日 帰 料 金	五五〇円	九二〇円	一九五円
一〇〇円	七七〇円	一一〇円	二六五円
（暖房料を含む）			

「でも、今さらそんなことをいっても遅いよ。」

姉が兄の肩をぽんとたたく。

「皆んなにはかなわないよ。母さん一人で反対しても、徳のいくよなことはないね。」

母は、こう言うと苦笑いする。  
私もあいづちを打つ

兄は、にこにこしながら言つた。  
「兄さんなんか死ねといつても死なないよ。それぐらいじょうぶにできているんだから心配ないよ。」

私は、兄をからかう。  
「なあに、この小さい体にも保険が、かかっているんだから心配ないさ。」

兄からは、保険に進んで加入することが保険を理解し、だれの顔もほほえみでいっぱいである。

これからは、保険に進んで加入することにした。これからは、なおりつそう明るい生活がおくれるよだ。

# 明るい三日月

土・日曜返上して街頭募金

を贈りました。

でに申せつた六五九円のお金

でに東洋の六五九円のお金

ん、佐藤茲子さん、  
武田優子さんたちは

托鉢金を献金

供達に少しでも温い  
贈り物をしたいと相  
談し土曜、日曜を返  
丸山武男さん（五六〇）は冷害  
などで困っている方に、いくらか  
でも温い手をさしのべたいと、十

さす献金しました。  
（二〇日現在  
で四千五百九円）

利用して冷い風の吹きさらす街角に立つて歳未たすけ合いを呼びかけ、十五日また淨財を毎日欠かが身にしめる師走の街を一日中托鉢の街に集められ

寝具一〇〇組を贈る  
第一淹本館は、きびしい寒の中で  
ぶんな袋団もなく困っている家庭に  
さいと袋団一〇〇組を寄贈しました

シミをつけた時の応急処置

はすし歯アテシの古いものでも使

お正月の晴着にシミをつけた場合外出先であればすぐ乾いたハンカチか紙で、水気をよくふきとつておきます。ハンカチなどに水を

ガスストーブではガスの穴がつま  
ず。あとはかわいた布でふいておきま  
す。

しめられて、軽くたたいでよろ  
しいですが、よほど気をつけない  
とかえってシミが広がり、見苦し  
くなることがあります。 まわりをやはり歯ブラシのような  
つていることがありますから、先  
のとがったものでよく穴をあけ、

みかんなどの果汁やしよう油、酒などのシミ処置としては表布だけであればシミの一番近い部分のぬい目をほどいて、そこから白い布をまきつけた小さい板をさしこみシミの下にあてます、そうして脱脂綿かガーゼにぬる湯を含ませかたく絞って、シミのまわりから内側にむかって叩くような気持でふいてゆきます。

石油、ガスストーブの手入れ  
焼熱筒の空気を吸込む網の目の  
ようなこまかい穴にホコリや煤が



は、やめよう、  
とめよう、知らせよう

知らせよう

木道の裏方田は年々増えてきて  
現在、博徒、的屋が前年に比べて  
かなり増えており、犯罪の内容も

てくる雑草のよう根強くひろがる暴力、それだけに暴力をなくす

一恐喝二窃盜、三傷害、四暴力の順序となっています。

す。暴力の被害をうけたり、それを見たり、聞いたときにはみなさ

最近の暴力団は取締りの強化からその犯罪も知能化、潜在化し、ますます巧妙になっていきます。刈りとっても刈りとっても、すぐにで

まからの“勇気ある届出”で、で  
きるだけ悪の芽を摘みたいと思いま  
す。小さな暴力被害も勇気をも  
つてすすんで警察に届出ましよう

家道  
卷之三

たまると、不完全燃焼して匂いが  
出ますから、然るべきのままでせるもの

## 広報のほりべつ

北のさし一家  
工藤恒美



▽東条佑市 二千円▽社宅婦人部  
幹事一同 二四六〇円▽新和会三  
三、〇八四円▽小野寺勇外十一名  
一七〇円▽山田ミサ子外四  
名 千円▽千葉助雄 一万元 ▽  
轟中清太令子外三名 六六五九  
円 ▽宮 一千円▽中村文恵

美  
舉

町の人口	
男	17,975
女	17,848
計	35,823
世帯数	8,959

▽竹中秀勝 千円 ▽衣料品 約五  
三〇〇点 観別婦人会、幌別、來  
馬地区町内会、富士疋協和会  
▽第一滻本館 布団組

有権者 20,000 を突破

、昨年9月15日現在でつくった基本選挙人名簿と海区漁業調整委員会委員選挙人名簿は、12月20日確定しました。この名簿は、今年12月19日までの間に行なわれる選挙に用いられます。名簿に登録された人員は、前年より1、369人増えていますが、投票所別に前年と比較しますと次のようになります。

## 基本選挙人名簿登録人員數調

39,12,20確定

投票区	投票所	昭和39年12月20日確定数			昭和38年12月20日確定数			差 増 減
		男	女	計	男	女	計	
1	体 育 館	1,787	1,970	3,577	1,605	1,598	3,203	374
2	生 活 館	739	791	1,530	761	768	1,529	1
3	大 谷 高 校	460	180	640	422	119	541	99
4	富 士 保 育 所	428	401	829	327	319	646	183
5	富 士 鉄 会 館	1,611	1,696	3,307	1,636	1,732	3,368	△ 61
曹達工場								
6	労組事務所	206	227	433	205	223	428	5
7	富 浦 保 育 所	197	201	398	195	206	401	△ 3
8	登 別 中 学 校	1,045	867	1,912	893	941	1,834	78
9	観 光 会 館	1,070	1,593	2,663	995	1,469	2,464	199
カ ル ル ス								
10	小 学 校	57	71	128	60	70	130	△ 2
11	札 内 小 学 校	61	51	112	56	50	106	6
12	鉱 山 小 学 校	41	43	84	49	46	95	△ 11
13	富 岸 小 学 校	55	47	102	53	49	102	
上 篓 別								
14	共 同 浴 場	499	505	1,004	413	417	830	174
15	鶴 別 中 学 校	1,709	1,730	3,439	1,561	1,551	3,112	327
	計	9,965	10,193	20,158	9,231	9,558	18,789	1,369

## 胆振海区漁業調整委員会委員選挙人名簿登録人員數調

投票区	投票所	昭和39年12月20日確定数			昭和38年12月20日確定数			差 増 減
		男	女	計	男	女	計	
1	富浦 保育所	106	89	195	106	90	196	△ 1
2	生活館	18	16	34	24	18	42	△ 8
3	鶴別 公民館	37	30	67	46	30	76	△ 9
	計	161	135	296	176	138	314	△ 18

外四名二四五四△幌別第